

令和4年度 大学機関別認証評価

エビデンス集（データ編）

[日本高等教育評価機構]

令和4(2022)年6月

日本医科大学

データ作成に関する注意事項

以下の注意事項に従って作成してください。なお、個々の様式に注釈がある場合、この限りではありません。

- 1 原則として受審年度5月1日現在のデータを記載してください。前年度等指示がある場合も同様に、毎年5月1日時点のデータを記載してください。
- 2 小数点以下は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで記載してください。
- 3 指定するデータ以外に、大学独自のデータを追加する場合は、コードを各基準の末尾に続けて記載し、タイトルも付けてください。
【例】基準5のデータを追加する場合...表5-6「タイトル」
- 5 データ内に該当しない個所がある場合、「-」を記載してください。
- 6 様式が当てはまらない場合、大学の実態に合わせて作表し、備考欄や欄外に注釈を記載してください。
表は、わかりやすい形に加工することができます。また、既に作成しているデータがある場合、それに代えることもできます。
- 7 複数ページにわたる場合、タイトルは初ページ、注釈は終ページのみに残してください。
- 8 様式に付されている注釈は削除せず残してください。
- 9 MS明朝体を使用し、英数字のみCenturyを使用してください。
- 10 評価機構担当者が決定するまでの間、「データ編」に関する不明点がある場合は、hyoukakikou@jihee.or.jpまで問い合わせてください。
- 11 提出後にデータの変更があった場合、実地調査終了時までは機関長名で修正又は再提出することができます。
その後は、その都度評価機構担当者に問い合わせてください。
- 12 通信教育課程のみの大学及び大学院大学等についても、個々の様式に準じて記載してください。

目 次

【共通基礎】	認証評価共通基礎データ	1
【表F-1】	理事長名、学長名等	9
【表F-2】	附属校及び併設校、附属機関の概要	10
【表F-3】	外部評価の実施概要	11
【表2-1】	学部、学科別在籍者数（過去5年間）	12
【表2-2】	研究科、専攻別在籍者数（過去3年間）	13
【表2-3】	学部、学科別退学者数及び留年者数の推移（過去3年間）	14
【表2-4】	就職相談室等の状況	15
【表2-5】	就職の状況（過去3年間）	16
【表2-6】	卒業後の進路先の状況（前年度実績）	17
【表2-7】	大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）	19
【表2-8】	学生の課外活動への支援状況（前年度実績）	20
【表2-9】	学生相談室、保健室等の状況	21
【表2-10】	附属施設の概要（図書館除く）	22
【表2-11】	図書館の開館状況	23
【表2-12】	情報センター等の状況	24
【表3-1】	授業科目の概要	25
【表3-2】	成績評価基準	29
【表3-3】	修得単位状況（前年度実績）	30
【表3-4】	年間履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）	32
【表4-1】	学部、学科の開設授業科目における専兼比率	33
【表4-2】	職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）	34
【表5-1】	財務情報の公表（前年度実績）	36
【表5-2】	事業活動収支計算書関係比率（法人全体のもの）	37
【表5-3】	事業活動収支計算書関係比率（大学単独）	38
【表5-4】	貸借対照表関係比率（法人全体のもの）	39
【表5-5】	要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）	40

◆認証評価共通基礎データ様式についての注意事項

- ① 「認証評価共通基礎データ」は、原則として受審年度の5月1日現在のデータとします。
本様式は、令和4年度申請用に作成していますので、令和4年5月1日が作成基準日となります。
- ② 本様式は様式1（組織・設備等）、様式2（学生）に分かれています。
それぞれについて確認あるいは作成してください。
- ③ 一部のデータは表中に値があれば、エクセル上で自動計算されます。
- ④ 各表において、該当がない場合は「-」（ハイフン）としてください。
- ⑤ 説明を付す必要があると思われるものについては、備考欄に記述してください。
- ⑥ 各表に該当しない欄や該当しない表がある場合でも、削除せず、全体に斜線を引くか、各セルに「-」（ハイフン）を記入するなどしてうめてください。

認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式1（令和4年5月1日現在）

事項		記 入		備 考
大学の名称		日本医科大学		-
学校本部の所在地		〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5		-
教育研究組織	学部・学科等の名称	開設年月日	所 在 地	備 考
	医学部医学科	昭和27年4月1日	〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 「千駄木キャンパス」 〒180-0023 東京都武蔵野市境南町1-7-1 「武蔵境キャンパス」 〒270-1694 千葉県印西市鎌苅1715 「千葉北総キャンパス」	-
	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所 在 地	備 考
大学院課程	医学研究科（博士課程）	昭和35年4月1日	〒113-8602 東京都文京区千駄木1-1-5 「基礎医学大学院棟」	-
	研究科・専攻等の名称	開設年月日	所 在 地	備 考
専門職学位課程	該当なし	-	-	-

	別科・専攻科・附置研究所等の名称	開設年月日	所在地	備考
別 科 等	日本医科大学付属病院	明治43年11月1日	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5	-
	日本医科大学腎クリニック	平成9年2月3日	〒113-0021 東京都文京区本駒込1-7-15 アサカビル	
	日本医科大学呼吸ケアクリニック	平成15年11月19日	〒102-0071 東京都千代田区九段南4-7-15 JPR市ヶ谷ビル8階	
	日本医科大学健診医療センター	平成18年2月20日	〒113-0022 東京都文京区千駄木1-12-15	
	日本医科大学ワクチン療法研究施設	昭和47年4月1日	〒113-8706 東京都文京区千駄木1-1-5	
	日本医科大学武蔵小杉病院	昭和12年6月6日	〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	
	日本医科大学多摩永山病院	昭和52年7月21日	〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1	
	日本医科大学千葉北総病院	平成6年1月25日	〒270-1694 千葉県印西市鎌刈1715	
	日本医科大学成田国際空港クリニック	平成4年12月6日	〒282-0004 千葉県成田市古込字古込1-1 成田国際空港第2旅客ターミナルビル	
	日本医科大学先端医学研究所	昭和43年4月1日	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5	
	日本医科大学看護専門学校	平成5年4月12日	〒270-1613 千葉県印西市鎌刈1955	
	日本獣医生命科学大学	昭和24年2月25日	〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1	
富士セミナーハウス	平成5年7月3日	〒401-0338 山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺799		
学生募集停止中の学部・研究科等	該当なし			-

施設・設備等	校地等	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考			
		校舎敷地面積	-	342,256 m ²	21,259 m ²	0 m ²	363,515 m ²				
		運動場用地	-	0 m ²	18,851 m ²	0 m ²	18,851 m ²				
		校地面積計	202,902 m ²	342,256 m ²	40,110 m ²	0 m ²	382,366 m ²				
		その他	-	2,255 m ²	0 m ²	0 m ²	2,255 m ²				
	校舎等	校舎面積計	区分	基準面積	専用	共用	共用する他の学校等の専用		計		
			校舎面積計	18,250 m ²	33,165 m ²	0 m ²	0 m ²		33,165 m ²		
		教員研究室	学部・研究科等の名称		室数						
			医学部・医学研究科		78 室						
			先端医学研究所		13 室						
					- 室						
		教室等施設	区分	講義室	演習室	実験演習室	情報処理学習施設		語学学習施設		
			千駄木キャンパス教室等施設	4 室	20 室	25 室	0 室		0 室		
			武蔵境キャンパス教室等施設	3 室	0 室	7 室	1 室		0 室		
			千葉北総キャンパス	- 室	- 室	- 室	- 室		- 室		
		図書館・図書資料等	図書館等の名称		面積	閲覧座席数					
			中央図書館		1,323.7 m ²	79 席					
			武蔵境校舎図書室		1,519.8 m ²	383 席					
			武蔵小杉病院臨床研究図書センター		105.5 m ²	24 席					
			多摩永山病院図書室		116 m ²	12 席					
千葉北総病院図書室			42.8 m ²	6 席							
図書館等の名称			図書〔うち外国書〕	学術雑誌〔うち外国書〕	電子ジャーナル〔うち国外〕						
中央図書館			59,203〔12,084〕冊	46,868〔21,518〕冊	9,694〔8,084〕種						
武蔵境校舎図書室			13,702〔683〕冊	1,984〔956〕冊	中央図書館に含む〔-〕種						
武蔵小杉病院臨床研究図書センター			947〔56〕冊	0〔0〕冊	中央図書館に含む〔-〕種						
多摩永山病院図書室		3,212〔130〕冊	1,796〔460〕冊	中央図書館に含む〔-〕種							
千葉北総病院図書室		1,523〔207〕冊	4,050〔1797〕冊	中央図書館に含む〔-〕種							
計		78,587〔13,160〕冊	54,698〔24,731〕冊	9,694〔8,084〕種							
体育館	千葉北総キャンパス		面積	-							
			916.6 m ²								

[注]

- 1 学部・学科、大学院研究科・専攻、別科・専攻科、研究所等ごとに記載してください（通信教育課程を含む）。
- 2 教育研究組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」にそのことがわかるよう記載するとともに、備考欄に、①連携する学部や研究科、②どの学部や研究科から何名の教員が当該課程に所属しているか、を明記してください。
- 3 教育研究組織の欄に、専門職学科（大学設置基準第10章）を記載する場合には、「学士課程」欄の「学部・学科等の名称」や「備考欄」にそのことがわかるよう記載してください。
- 4 教養教育科目、外国語科目、保健体育科目、教職科目等を担当する独立の組織や、附置研究所、附属病院等がある場合には、「別科・専攻科等」の欄に記載してください。
- 5 所在地について、2以上の校地において行う場合で当該校地にキャンパス名称があれば、当該所在地の後に「○○キャンパス」と記載してください。
- 6 教員組織の欄には、教育研究組織の欄で記載した組織単位で専任教員等及び非常勤教員の数を記入してください。その際、専門職学科等を設置していない場合は「学士課程」、専門職学科等を設置している場合は「学士課程（専門職学科等含む）」の欄を使用してください。
- 7 上記4に記載した、学部教育を担当する独立の組織がある場合には、組織名は、「学部・学科等の名称」の欄に「その他の組織等（○○）」と記載し、専任教員等及び非常勤教員の数を記載してください。
なお、その場合は、「基準数（及び「教授数」）」及び「専任教員一人あたりの在籍学生数」の欄は「—」としてください。
- 8 教員組織の欄に、学部等連携課程（大学設置基準第42条の3の2）に関する記載をする際には、「学士課程」または「学士課程（専門職学科等含む）」の「備考」欄に学部等連携課程としての専任教員数や所属組織等を記入してください。
- 9 専任教員数の記入に際しては、休職、サバティカル制度等により一時的に大学を離れている場合も専任教員に算入してください。
ただし、大学設置基準第11条における「授業を担当しない教員」は含めないでください。
- 10 「非常勤教員」の欄には、客員教員や特任教員等で専任の教員は含みません。
- 11 他の学部・学科等に所属する専任の教員であって、当該学部・学科等の授業科目を担当する教員（兼任）は、「非常勤教員」の欄には含めないでください。また、「専任教員等」の各欄にも含めないでください。
- 12 専任教員、研究指導教員及び研究指導補助教員の基準数については、それぞれ以下に定める教員数を記載してください。
 - ・大学設置基準第13条別表第一及び別表第二（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学通信教育設置基準第9条別表第一（備考に規定する事項を含む。）
 - ・大学院設置基準第9条の規定に基づく「大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件」（平成11年文部省告示第175号）別表第一、別表第二及び別表第三（備考に規定する事項を含む。）
 - ・「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第1条及び第2条
- 13 「うち実務家専任教員数」「うちみなし専任教員数」の欄については、大学設置基準第42条の6、並びに「専門職大学院に関し必要な事項について定める件」（平成15年文部科学省告示第53号）第2条に定める実務の経験及び高度の実務の能力を有する専任教員（実務家専任教員）、及び学士課程（専門職学科等）においては、1年につき6単位以上、専門職学位課程においては1年につき4単位以上の授業科目を担当し、教育課程の編成その他組織の運営に責任を担う専任教員以外の者（みなし専任教員）の教員数を記入してください。
- 14 「学士課程（専門職学科等含む）」のうち、「○○学部○○専門職学科」以外の学部・課程においては、「うち実務家教員数」、「うち2項該当数」、「うちみなし専任教員数」の欄は「—」としてください。
- 15 「学士課程」または「学士課程（専門職学科等）」のうち、薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部・学科等については、「専任教員等」欄に記入した専任教員のうちの実務家教員の数を「備考欄」に記入してください。
実務家教員中にみなし専任教員がいる場合は、さらにその内数を実務家教員の数に（ ）で添えて記入してください。
なお、ここにいう「実務家教員」及び「みなし専任教員」については、それぞれ「大学設置基準別表第一イ備考第九号の規定に基づき

薬学関係（臨床に係る実践的な能力を培うことを主たる目的とするもの）の学部に係る専任教員について定める件」（平成16年文部科学省告示第175号）第1項及び同第2項に定める教員を指します。

- 16 「専任教員1人あたりの在籍学生数」の欄には、様式2の在籍学生数／本表の専任教員数計により、算出してください。
- 17 「校舎敷地面積」、「運動場用地」の欄は、大学設置基準上算入できるものを含めてください。
- 18 寄宿舍その他大学の附属病院以外の附属施設（大学設置基準第39条第1項を参照）用地、附置研究所用地、駐車場、大学生協用地など大学設置基準上「校地」に算入できない面積は「校地等」の「その他」の欄に記入してください。
- 19 「校舎面積計」の欄は、学校基本調査の学校施設調査票（様式第20号）における学校建物の用途別面積の「校舎」の面積の合計としてください。
- 20 校地面積、校舎面積の「専用」の欄には、当該大学が専用で使用する面積を記入してください。「共用」の欄には、当該大学が他の学校等と共用する面積を記入してください。「共用する他の学校等の専用」の欄には、当該大学の敷地を共用する他の学校等が専用で使用する敷地面積を記入してください。
- 21 「基準面積」の欄は、大学設置基準第37条における「大学における校地」の面積（附属病院以外の附属施設用地及び寄宿舍の面積を除く。）または大学通信教育設置基準第10条の校舎等の施設の面積としてください。
- 22 「教員研究室」の欄は、専任教員数に算入していない教員の研究室は記入する必要はありません。なお、複数の助教等が共同して1室で執務する場合は、教員数を室数に換算してください。

認証評価共通基礎データ様式【大学（専門職大学含む）用】様式2（令和4年5月1日現在）

学部名	学科名	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入学定員に対する平均比率	備考
医 学 部	医 学 科	志願者数	3,932	4,196	4,118	3,882	3,464	100.0%	-
		合格者数	122	198	234	231	214		
		入学者数(A)	121	121	126	126	123		
		入学定員(B)	121	121	126	126	123		
		入学定員充足率(A/B)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		
		在籍学生数(C)	704	725	742	741	748		
		収容定員(D)	697	704	716	728	735		
	収容定員充足率(C/D)	101.0%	103.0%	103.6%	101.8%	101.8%			
	× × 学 科	志願者数	-	-	-	-	-	-	-
		合格者数	-	-	-	-	-		
		入学者数(E)	-	-	-	-	-		
		入学定員(F)	-	-	-	-	-		
		入学定員充足率(E/F)	-	-	-	-	-		
		在籍学生数(G)	-	-	-	-	-		
収容定員(H)		-	-	-	-	-			
収容定員充足率(G/H)	-	-	-	-	-				
医 学 部 合 計	志願者数	3,932	4,196	4,118	3,882	3,464	100%	-	
	合格者数	122	198	234	231	214			
	入学者数(I)	121	121	126	126	123			
	入学定員(J)	121	121	126	126	123			
	入学定員充足率(I/J)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%			
	在籍学生数(K)	704	725	742	741	748			
	収容定員(L)	697	704	716	728	735			
	収容定員充足率(K/L)	101.0%	103.0%	103.6%	101.8%	101.8%			

<編入学> 該当なし。

学部名	学科名	項目	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	備考	
		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
			-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-	-	
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		
		-	-	-	-	-	-		

研究科名	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	入学定員に対する平均比率	備考
医学研究科	志願者数	44	49	52	42	49		
	合格者数	42	49	51	42	48		
	入学者数 (E)	42	49	51	42	48	66%	
	入学定員 (F)	70	70	70	70	70		
	入学定員充足率 (E/F)	60%	70%	73%	60%	69%		
	在籍学生数 (G)	165	180	200	209	222		
	収容定員 (H)	280	280	280	280	280		
収容定員充足率 (G/H)	59%	64%	71%	75%	79%			
医学研究科合計	志願者数	44	49	52	42	49		
	合格者数	42	49	51	42	48		
	入学者数 (I)	42	49	51	42	48	66%	
	入学定員 (J)	70	70	70	70	70		
	入学定員充足率 (I/J)	60%	70%	73%	60%	69%		
	在籍学生数 (K)	165	180	200	209	222		
	収容定員 (L)	280	280	280	280	280		
収容定員充足率 (K/L)	59%	64%	71%	75%	79%			

<編入学> 該当なし。

研究科名	項目	○年度	○年度	○年度	○年度	○年度	備考
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	
	-	-	-	-	-	-	

[注]

- 1 学生を募集している学部・学科（課程）、研究科・専攻、専攻科・別科等ごとに行を追加して作成してください。
なお、学部・学科等を追加する場合は、直下に追加しないと集計値がずれてしまうので、注意して下さい。
- 2 昼夜開講制をとっている学部については、昼間主コースと夜間主コースにそれぞれ分けて記入してください。
- 3 学部、学科の改組等により、新旧の学部、学科が併存している場合には、新旧両方を併記し、「備考」に記載してください。
- 4 学部・学科、研究科・専攻等が完成年度に達していない場合、その旨を備考に記載してください。
- 5 募集定員が若干名の場合は、「0」と記載し、入学者数については実入学者数を記載してください。
- 6 入学定員充足率は、入学定員に対する入学者の割合、収容定員充足率は、収容定員に対する在籍学生数の割合としてください。
- 7 入学定員に対する平均比率は、過去5年分の入学定員に対する入学者の比率を平均したものが自動計算されます。
- 8 最新年度の秋入学については別途確認します。
- 9 編入学の定員を設定している場合、上の表（<編入学>の表ではない方）の入学定員には、編入学の定員を加えないでください。
- 10 博士前期課程を看護課程として、博士後期課程を医学課程としている博士課程については、博士前期課程と博士後期課程にそれぞれ分けて記入してください。

表F-1

理事長名、学長名等

理事長名	坂本篤裕		学長名	弦間昭彦
学部長名	医学部長	安武正弘	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
研究科長名	医学研究科長	森田明夫	-	-
	-	-	-	-
	-	-	-	-
大学 事務局長名	栗山雅秀			

- ① 学部長、研究科長はすべての学部、研究科において記載すること。
- ② 大学事務局長の欄には、大学事務局長又は相当者を記載すること。

表F-2

附属校及び併設校、附属機関の概要

名 称	開設年月日	所 在 地	機関の長
日本医科大学付属病院	明治43年11月1日	〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5	汲 田 伸一郎
日本医科大学腎クリニック	平成9年2月3日	〒113-0021 東京都文京区本駒込1-7-15 アサカビル	平 間 章 郎
日本医科大学呼吸ケアクリニック	平成15年11月19日	〒102-0071 東京都千代田区九段南4-7-15 JPR市ヶ谷ビル8階	日 野 光 紀
日本医科大学健診医療センター	平成18年2月20日	〒113-0022 東京都文京区千駄木1-12-15	村 上 隆 介
日本医科大学ワクチン療法研究施設	昭和47年4月1日	〒113-8706 東京都文京区千駄木1-1-5	廣 田 薫
日本医科大学武蔵小杉病院	昭和12年6月6日	〒211-8533 神奈川県川崎市中原区小杉町1-396	谷 合 信 彦
日本医科大学多摩永山病院	昭和52年7月21日	〒206-8512 東京都多摩市永山1-7-1	中 井 章 人
日本医科大学千葉北総病院	平成6年1月25日	〒270-1694 千葉県印西市鎌刈1715	別 所 竜 蔵
日本医科大学成田国際空港クリニック	平成4年12月6日	〒282-0004 千葉県成田市古込字古込1-1 成田国際空港第2旅客ターミナルビル	赤 沼 雅 彦
日本医科大学先端医学研究所	昭和43年4月1日	〒113-0031 東京都文京区根津1-25-16	福 原 茂 朋
日本医科大学看護専門学校	平成5年4月12日	〒270-1613 千葉県印西市鎌刈1955	内 藤 明 子
日本医科大学済生学舎ギャラリー	令和2年8月22日	〒113-0023 東京都文京区向丘2-20-7	弦 間 昭 彦
日本獣医生命科学大学	昭和24年2月25日	〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1	清 水 一 政
日本獣医生命科学大学付属動物医療センター	平成15年6月4日	〒180-8602 東京都武蔵野市境南町1-7-1	藤 田 道 郎
日本獣医生命科学大学付属牧場（富士アニマルファーム）	平成4年10月1日	〒401-0338 山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺799	長 田 雅 宏
富士セミナーハウス	平成5年7月3日	〒401-0338 山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺799	-
学校法人日本医科大学牧心セミナーハウス	平成14年3月12日	〒401-0338 山梨県南都留郡富士河口湖町富士ヶ嶺831	外部へ管理委託
学校法人日本医科大学成田国際空港PCRセンター	令和2年10月22日	〒282-0004 千葉県成田市古込字古込1-1 成田国際空港第2旅客ターミナルビル	赤 沼 雅 彦

- ① 同一法人内の附属校（幼稚園、小・中学校、高等学校、短期大学等）及び併設校がある場合はすべて記載すること。
 ② 附属機関（附属病院、附属研究所、博物館等）がある場合はすべて記載すること。ただし、図書館は除くこと。

表F-3

外部評価の実施概要

評価機関名	評価時期(年 月)	機関別・プログラム別	備考
有識者による外部評価委員会	平成12年7月18日	機関別	-
公益財団法人日本高等教育評価機構	平成21年3月24日	機関別	-
公益財団法人日本高等教育評価機構	平成28年3月8日	機関別	-
一般社団法人日本医学教育評価機構	平成31年1月15日	医学教育分野別	-

- ① 認証評価を含め、JABEE（日本技術者教育認定機構）、ISO（環境、情報セキュリティー等）、その他第三者評価等の外部評価を受けた実績がある場合はすべて記載すること。
- ② 評価時期には、評価結果を受け取った時期を記載すること。また、進行中の場合も記載し、その旨を備考に記載すること。

表2-1

学部、学科別在籍者数（過去5年間）

学部	学科	平成30年度				令和元年度				令和2年度			
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)
医学部	医学科	704	-	-	-	725	-	-	-	742	-	-	-
医学部合計		704	-	-	-	725	-	-	-	742	-	-	-
総合計		704	-	-	-	725	-	-	-	742	-	-	-

学部	学科	令和3年度				令和4年度				備考
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	帰国 生徒数 (内数/人)	
医学部	医学科	741	-	-	-	748	-	-	-	-
医学部合計		741	-	-	-	748	-	-	-	-
総合計		741	-	-	-	748	-	-	-	-

① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。

② 社会人及び帰国生徒は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。科目等履修生等を含めないこと。

表2-2

研究科、専攻別在籍者数（過去3年間）

修士課程

研究科	専攻	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

博士課程

研究科	専攻	令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)	在籍者数 (人)	留学生数 (内数/人)	社会人 入学 学生数 (内数/人)
医学研究科	医学専攻	186	8	36	206	7	29	220	6	39
	外科系専攻	3	0	0	0	0	0	0	0	0
	生理系専攻	1	0	0	1	0	0	1	0	0
	内科系専攻	9	0	0	2	0	0	1	0	0
	病理系専攻	1	0	0	0	0	0	0	0	0
医学研究科合計		200	8	36	209	7	29	222	6	39

① 秋学期入学の場合は、別に記入欄を設けて記載すること。

② 社会人は入試形態による、留学生は在留資格「留学」を持つ外国人学生をいう。研究生、科目等履修生等を含めないこと。

表2-3

学部、学科別退学者数及び留年者数の推移（過去3年間）

【退学者】

学部	学科	令和元年度							令和2年度							令和3年度						
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
医学部	医学科	1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	1	6	2	1	0	1	0	0	4
合 計		1	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	2	1	6	2	1	0	1	0	0	4

- ① 退学者数には、除籍者も含めること。
- ② 医、歯、薬、獣医学部（あるいは獣医（関係）学科をもつ学部）の場合には、6年次まで作成すること。
- ③ 毎年度3月31日現在の退学者数を記載すること。

【留年者】

学部	学科	令和2年度							令和3年度							令和4年度						
		1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	合計
医学部	医学科	4	5	1	2	0	7	19	4	1	2	1	0	2	10	0	2	4	0	0	0	6
合 計		4	5	1	2	0	7	19	4	1	2	1	0	2	10	0	2	4	0	0	0	6

- ① 留年者には、休学や留学によって進級が遅れた者は含めないこと（進級要件を設定していない大学で、2年次に留学もしくは休学した学生が、4年で卒業できず、留年となった場合は2年次、4年次のいずれの留年者数にも含めないこと）。

表2-4

就職相談室等の状況 「該当なし」

名称	スタッフ数	開室日数 週当たり	開室時間	備考
-	-	-	: ~ :	-
-	-	-	: ~ :	-
-	-	-	: ~ :	-
-	-	-	: ~ :	-

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類（教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。
- ④ 開室時間については学期中の平日における開室時間を記載すること。

表2-5

就職の状況（過去3年間）

【学部】

学部	学科	令和元年度					令和2年度					令和3年度				
		卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	卒業生数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
医学部	医学科	108	108	106	98.1	-	123	123	118	95.9	-	113	113	108	95.6	-
合 計		108	108	106	98.1	-	123	123	118	95.9	-	113	113	108	95.6	-

※就職者数は医師国家試験に合格した人数

【研究科】

研究科	専攻	令和元年度					令和2年度					令和3年度				
		修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数	修了者数 (人)	就職 希望者数	就職者 数	就職率 (%)	求人社数
〇〇研究科 修士課程	〇〇専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	〇〇専攻	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学研究科 博士課程	医学専攻	8	8	8	100	-	18	18	18	100	-	27	25	25	100	-
	外科系専攻	13	13	13	100	-	2	2	2	100	-	0	0	0	0	-
	内科系専攻	7	7	7	100	-	6	5	5	100	-	0	0	0	0	-
	病理系専攻	2	2	2	100	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
	生理系専攻	1	0	0	0	-	0	0	0	0	-	0	0	0	0	-
医学研究科計		31	30	30	100	-	26	25	25	100	-	27	25	25	100	-
合 計		31	30	30	100	-	26	25	25	100	-	27	25	25	100	-

① 就職率は就職希望者に対し、実際に就職した就職者の割合を記載すること。

② 学部、研究科について記載すること（通信教育は記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。

表2-6

卒業後の進路先の状況（前年度実績）

		医学部		〇〇学部		〇〇研究科（修士課程）		医学研究科（博士課程）		〇〇研究科（修士課程）		〇〇研究科（博士課程）	
		人数(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
就職	農業、林業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	漁業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	鉱業、採石業、 砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	電気・ガス・ 熱供給・水道業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	情報通信業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	運輸業、郵便業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	卸売・小売業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	金融・保険業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不動産業、 物品賃貸業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	学術研究、専門・技 術サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	宿泊業、 飲食サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	生活関連サービス 業、娯楽業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	教育、学習支援業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	医療、福祉	108	95.6	-	-	-	-	25	92.5	-	-	-	-
	複合サービス事業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他サービス業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公務	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
上記以外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
就職者合計		108	95.6	-	-	-	-	25	92.5	-	-	-	-
進学	他の大学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他の高等教育機関	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	自大学院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	他大学院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
進学者合計		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	無業者・未定者	5	4.4	-	-	-	-	2	7.5	-	-	-	-
卒業生・修了者合計		113	100.0%	-	-	-	-	27	100.0%	-	-	-	-

- ① 「人数」欄は、学部、研究科ごとの進路先への人数を記載すること。
- ② 各学部、研究科の卒業生、修了者の合計に対する各進路先の人数をパーセンテージで算出し、記載すること。
- ③ 就職の項目にある「上記以外」の例：NGO団体、国際機関など。
- ④ 就職しつつ進学した場合は、先に決定したほうに記載すること。
- ⑤ 学部、研究科について記載すること（通信教育は記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。

表2-7

大学独自の奨学金給付・貸与状況（授業料免除制度）（前年度実績）

奨学金の名称	学内・学外の別	給付・貸与の別	支給対象学生数 (a)	在籍学生総数 (b)	在籍学生総数に対する比率 $a/b*100$	月額支給総額 (c)	1件あたりの月額支給額 c/a	備考 (授業料免除制度がある場合は、その基準を記載すること)
日本医科大学奨学金（新入生）	学内	貸与	11	741	1.5	1,291,666	117,424	-
日本医科大学奨学金（2年生以降）	学内	貸与	25	741	3.4	2,225,000	89,000	-
日本医科大学父母会奨学金	学内	貸与	12	741	1.6	1,000,000	83,333	-
私費外国人留学生授業料減免	学内	-	6	196	3.1	-	-	私費外国人留学生に限り、授業料の3割を減免（75,000円）
大学院単位修得者の授業料免除	学内	-	14	196	7.1	-	-	大学院単位修得者の授業料免除（その年度の3月までに学位申請すれば免除）免除額250,000円

- ① 前年度実績をもとに記載すること。
- ② 在籍学生総数は前年度全体の学生数で、卒業生を含んだ人数（3月31日現在）を記載すること。
- ③ 奨学金の名称の欄は、種類別等のタイトルごとにまとめて記載すること。
- ④ 学部学生、大学院学生、新入生、留学生等に限定した奨学金等については、「在籍学生総数」欄には学部学生、大学院学生、新入生、留学生等の総数のみ記載すること。
- ⑤ 留学生や特別な支援が必要な学生に対する奨学金、授業料免除等がある場合は、記載すること。
- ⑥ 授業料免除制度がある場合は、その基準を備考に記載すること。
- ⑦ 学部・大学院共通、学部対象、大学院対象など、大きな区分で記載すること。
- ⑧ 年次支給の場合も、月額支給額を算出して記載すること。
- ⑨ 一つの奨学金等に複数の種類や実施方法がある場合、種類や方法別にすべて記載すること。

表2-8

学生の課外活動への支援状況（前年度実績）

	活動資金支援			その他（資金支援以外の支援策等）	
	件数	金額	1件あたりの金額	件数	支援の方法を具体的に記載
サークル活動	0	-	-	-	-
ボランティア活動	0	-	-	-	-
起業活動	0	-	-	-	-

※ 学生自治組織（学友会）に一括支援し、学友会の中で学園祭等の学友会行事や各サークルに分配している。

※ 前年度（R3）年度及び一昨年度（R2）は、コロナ禍で活動できず、分配していない。R1年度までは、例年1,200万円分配している。

表2-9

学生相談室、保健室等の状況

名称	スタッフ数		開室日数		開室時間		備考
	常勤	非常勤	週当たり	年間			
学生相談室 (千駄木キャンパス)	1	1	2日 (土がある場 合は3日)	108日	火	11:00~19:00	資格を持ったカウンセラー
					木	11:00~19:00	
					土(月1回)	10:00~16:00	
学生相談室 (千駄木キャンパス)	1	1	4日 (土がある場 合は5日)	204日	火~金	11:00~19:00	資格を持ったカウンセラー
					土(月1回)	10:00~16:00	
医務室 (武蔵境キャンパス)	-	1	不定期	-	不定期	随時	医師
医務室 (千駄木キャンパス)	-	2	1日 (隔週で2日)	72日	火・金 (月2回)	14:00 ~ 16:30	医師

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのこの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類（医師、資格を持ったカウンセラー、教員、職員等）を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開室日数については学期中の週当たりの実際開室日数を記載すること。
- ④ 開室時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表2-10

附属施設の概要（図書館除く）

名称	面積の合計 (㎡)	専用・共用 の別	収容人員（総数） 該当する場合のみ記載	開館時間等 該当する場合のみ記載	スタッフ数 該当する場合のみ記載	主な用途
先端医学研究所	950.24	専用	—	: ~ :	—	研究所
付属病院	79,571.97	専用	—	: ~ :	—	病院
腎クリニック	518.55	専用	—	: ~ :	—	病院
ワクチン療法研究施設	114.61	専用	—	: ~ :	—	病院
呼吸ケアクリニック	536.00	専用	—	: ~ :	—	病院
武蔵小杉病院	32,440.64	専用	—	: ~ :	—	病院
多摩永山病院	24,141.09	専用	—	: ~ :	—	病院
千葉北総病院	59,398.78	専用	—	: ~ :	—	病院
成田国際空港クリニック	344.93	専用	—	: ~ :	—	病院
健診医療センター	2,476.23	専用	—	: ~ :	—	病院
成田国際空港PCRセンター	1,401.37	専用	—	: ~ :	—	病院

① 大学設置基準第39条に基づき、学部・学科の教育研究に必要な施設を記入すること。

表2-11

図書館の開館状況

図書館の名称	スタッフ数	開館日数 週当たり	開館時間	備考
中央図書館	9	6	7:30 ~ 23:00	職員(司書)
武蔵境校舎図書室	1	6	9:00 ~ 21:00	職員(司書)
武蔵小杉病院臨床研究図書センター	1	5	00:00 ~ 24:00	職員(司書)
多摩永山病院図書室	1	5	00:00 ~ 24:00	職員(司書)
千葉北総病院図書室	2	5	00:00 ~ 24:00	職員(兼務)

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのおのの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② スタッフの種類(教員、職員等)を備考欄に記載すること。
- ③ 週当たりの開館日数については学期中の週当たりの実際開館日数を記載すること。
- ④ 開館時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表2-12

情報センター等の状況

情報センター等の名称	座席数	コンピュータ 台数	開館時間等	開館日数 週当たり	スタッフ数 該当する場合のみ記載
教育棟地下1階学生ラウンジ	23	23	8:30 ~ 21:00	1	-
武蔵境校舎共同研究室	12	12	8:30 ~ 21:00	1	-
武蔵小杉病院共同スペース	6	6	8:30 ~ 21:00	1	-
多摩永山病院CCルーム	6	6	8:30 ~ 21:00	1	-
千葉北総病院CC棟	6	6	8:30 ~ 21:00	1	-

- ① 学部、キャンパスごとに分かれている場合は、おのおのの学部、キャンパスごとに記載すること。
- ② コンピュータ台数については学生が利用可能な状態にある情報教育用のコンピュータの台数について記載すること。
サーバ用途のコンピュータや倉庫に保管されているなどの遊休状態のものは含めない。
- ③ 週当たりの開館日数については学期中の週当たりの実際開館日数を記載すること。
- ④ 開館時間については学期中の平日における開館時間を記載すること。

表3-1
授業科目の概要

	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教			
授業科目の概要	医学部 医学科 教養科目	セミナー	1	12	-	-	6	6	4	1	-	
		自然科学基礎（物理）	1	18	-	-	-	1	-	-	-	
		自然科学基礎（化学）	1	20	-	-	1	-	-	-	-	
		自然科学基礎（生物）	1	18	-	-	1	-	1	-	-	
		生物学実験	1	51	-	-	1	-	1	-	-	
		スポーツ科学) ユニット①スポーツ科学	1	10	-	-	-	2	-	-	-	
		スポーツ科学) ユニット②スポーツ科学実習	1	56	-	-	-	2	-	-	-	
		生物科学) ユニット①生命科学基礎	1	50	-	-	1	-	1	-	-	
		生物科学) ユニット②発生生物学	1	17	-	-	1	-	1	-	-	
		物理学) ユニット①物理学	1	20	-	-	1	1	-	-	-	
		物理学) ユニット②物理学実験	1	48	-	-	1	1	-	-	-	
		物理学) ユニット③人工知能概論	1	12	-	-	2	1	2	-	-	
		化学) ユニット①化学	1	38	-	-	1	-	1	-	-	
		化学) ユニット②化学実験	1	48	-	-	1	1	1	-	-	
		数学) ユニット①数学	1	33	-	-	1	-	1	-	-	
		数学) ユニット②コンピュータ・リテラシー	1	15	-	-	-	-	-	1	-	
		外国語) ユニット①英語 I (A)	1	27	-	-	-	-	-	1	-	
		外国語) ユニット②英語 I (B)	1	21	-	-	1	-	-	-	-	
		外国語) ユニット③英語 I (C)	1	27	-	-	-	1	-	-	-	
		外国語) ユニット④英語 I (D)	1	27	-	-	-	1	-	-	-	
		外国語) ユニット⑤世界の言語と文化	1	27	-	-	-	-	-	-	-	学外講師
		人文社会科学) ユニット①生命倫理学	1	11	-	-	1	-	-	-	1	-
		人文社会科学) ユニット②行動科学 I	1	20	-	-	-	1	-	-	1	-
		人文社会科学) ユニット③-1哲学	1	21	-	-	-	-	-	-	-	学外講師
		人文社会科学) ユニット③-2社会学	1	21	-	-	-	-	-	-	-	学外講師
		人文社会科学) ユニット③-4医療人類学/老年学	1	21	-	-	-	-	-	-	-	学外講師
				-	-	-	-	-	-	-	-	-
	基礎・専門科目	特別プログラム	1	12	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
		医学入門) ユニット①医学教育カリキュラム総論	1	18	-	-	8	1	2	1	1	学長=教授
		医学入門) ユニット②医学概論	1	10	-	-	2	-	-	-	-	-
		医学入門) ユニット③医学入門	1	20	-	-	2	2	2	1	-	-
		医学実地演習 I	1	30	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
		医学実地演習 II	1	30	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
基礎医学総論 I) 分子解剖学（発生・組織・分子細胞医学）		1	35	-	-	3	-	2	3	-	-	
基礎医学総論 I) 解剖学（生体構造学）		1	19	-	-	2	2	2	-	-	-	
基礎医学総論 II) 生理学（生体統御学）		1	18	-	-	1	1	1	2	-	-	
基礎医学総論 II) 生理学（システム生理学）		1	16	-	-	1	2	-	2	-	-	

			基礎医学総論Ⅲ) 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)	1	10	-	-	1	-	1	1	-
			基礎医学総論Ⅲ) 生化学・分子生物学 (分子遺伝学)	1	10	-	-	1	-	2	2	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-

授業科目の概要	医学部	医学科	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考	
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
					教養科目	基礎科学) ユニット①行動科学Ⅱ	2	9	-	-	-		-
	基礎科学) ユニット②統計学	2	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
	基礎科学) ユニット③英語	2	22	-	-	-	1	1	1	-	-	-	
	基礎科学) ユニット④医療倫理学	2	12	-	-	-	3	-	-	-	-	-	
	基礎科学) ユニット⑤福祉社会論	2	10	-	-	-	-	-	-	-	-	学外講師	
	基礎科学) ユニット⑥運動生理学	2	11	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
	基礎科学) ユニット⑦情報科学演習	2	10	-	-	-	1	-	-	-	1	-	
			特別プログラム	2	15	-	-	1	-	-	-	-	-
			医事法学	2	12	-	-	1	-	1	-	-	-
			分子解剖学 (発生・組織・分子細胞医学)	2	84	-	-	5	6	1	3	-	-
			解剖学 (生体構造学)	2	105	-	-	1	2	2	-	-	-
			生理学 (システム生理学)	2	87	-	-	1	2	-	4	-	-
			生理学 (生体統御学)	2	93	-	-	1	1	2	2	-	-
			生化学・分子生物学 (代謝・栄養学)	2	53	-	-	1	-	2	3	-	-
			生化学・分子生物学 (分子遺伝学)	2	54	-	-	2	1	2	3	-	-
			SGL	2	27	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
			医学実地演習Ⅲ	2	30	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
			病理学 (解析人体病理学・統御機構診断病理学)	2	132	-	-	4	2	6	2	-	-
			微生物学・免疫学	2	95	-	-	1	1	2	3	-	-
			衛生学・公衆衛生学	2~3	84	-	-	1	2	3	2	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

授業科目の概要	医学部	医学科	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
					基礎・専門科目	法医学	3	49	-	-	-	
	薬理学	3	108	-	-	-	1	3	3	1	-	-
	行動科学Ⅲ	3	6	-	-	-	2	1	1	2	-	-
	研究配属	3	90	-	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
	臨床医学への基礎医学的アプローチ	3	21	-	-	-	5	2	4	1	-	-
	臨床医学総論	3	45	-	-	-	10	7	1	2	-	学長=教授
	基礎医学系水平統合プログラム/SGL	3	54	-	-	-	1	-	-	-	-	科目責任者のみ
	循環器	3	72	-	-	-	3	16	11	5	-	-
	消化器	3	66	-	-	-	6	17	13	4	-	-
	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺) ユニット①呼吸器	3	44	-	-	-	6	8	5	-	-	学長=教授
	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺) ユニット②感染	3	17	-	-	-	2	2	3	1	-	-
	呼吸器・感染・腫瘍・乳腺) ユニット③腫瘍・乳腺	3	20	-	-	-	6	4	2	-	-	-

			神経・リハビリ	3	78	-	-	7	10	8	7	-
			放射線医学	3	30	-	-	2	3	6	4	-
			内分泌・代謝・栄養	3	36	-	-	2	3	6	2	-
			アレルギー・膠原病・免疫	3	30	-	-	5	5	2	-	-
			血液・造血器	3	30	-	-	3	2	2	3	-
			腎・泌尿器	3	57	-	-	3	6	3	1	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-

授業科目の概要	医学部	医学科	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
			救急と生体管理	4	33	-	-	2	3	5	11	-
			産婦人科学	4	39	-	-	3	7	4	-	-
			運動・感覚	4	33	-	-	1	3	2	4	-
			小児・思春期医学	4	38	-	-	3	8	1	3	-
			頭頸部・耳鼻咽喉科学	4	24	-	-	3	2	2	4	-
			眼科	4	24	-	-	2	4	1	4	-
			皮膚科学	4	27	-	-	3	3	1	-	-
			形成・再建・再生	4	21	-	-	4	3	3	2	-
			精神医学	4	32	-	-	2	3	3	1	-
			麻酔・集中管理・疼痛制御	4	33	-	-	3	5	5	1	-
			基本臨床実習	4	144	-	-	1	-	-	-	科目責任者のみ
			統合臨床	4	26	-	-	2	2	1	2	-
			SGL	4	15	-	-	1	-	-	-	科目責任者のみ
			行動科学IV	4	2	-	-	-	1	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-

授業科目の概要	医学部	医学科	授業科目の名称	配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考
					必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
			内科学	4~5	701.25	-	-	14	21	21	120	-
			外科学	4~5	420.75	-	-	5	17	15	84	-
			産婦人科学	4~5	132	-	-	1	6	3	37	-
			小児科学	4~5	132	-	-	3	9	2	27	-
			精神医学	4~5	99	-	-	1	-	1	3	-
			放射線医学	4~5	33	-	-	1	1	4	11	-
			麻酔科学	4~5	49.5	-	-	-	3	3	35	-
			泌尿器科学	4~5	33	-	-	1	3	3	9	-
			皮膚科学	4~5	33	-	-	3	4	3	10	-
			形成外科学	4~5	49.5	-	-	4	3	3	15	-
			整形外科	4~5	33	-	-	1	3	2	16	-
			脳神経外科学	4~5	66	-	-	1	6	2	20	-
			救急医学	4~5	99	-	-	2	3	6	57	-
			集中治療学	4~5	33	-	-	-	2	1	11	-
			総合診療学	4~5	66	-	-	1	5	2	6	-

			地域医療	4～5	33	-	-	1	-	-	-	-
			耳鼻咽喉科学	4～5	66	-	-	1	2	2	6	-
			眼科学	4～5	33	-	-	2	4	1	17	-
			病理学	4～5	33	-	-	3	1	3	4	-
			リハビリテーション学	4～5	33	-	-	3	-	2	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-

授業科目の概要	授業科目の名称			配当年次	単位数又は時間数			専任教員の配置				備考
	医学部	医学科	基礎・専門		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
			選択臨床実習	6	264	-	-	43	79	72	455	-
			社会医学	6	23	-	-	1	2	3	1	-
			臨床病態学	6	60	-	-	12	7	3	-	-
				-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ① 学則に掲載している科目を記載すること。
- ② 学則に掲載している科目で近年開講していない科目がある場合も記載し、その旨を備考欄に記載すること。
- ③ 「配当年次」欄には、当該科目を1年次～4年次まで毎年度配当する場合は「1・2・3・4」と記載すること。年次をまたがって授業を行う場合は「○～○」（例えば、3年次～4年次の2年間を通して開講する場合は「3～4」）と記載すること。また、隔年開講の場合は、備考欄に「隔年開講」を記載すること。
- ④ 「専任教員配置」欄には、授業科目ごとに、当該授業科目を担当する専任教員の数について、1年間の延べ開講数を問わず実人数を記載すること。同一の授業科目について同一の職位の教員が複数担当する場合（同一の授業科目について、複数の教員が分担するオムニバス方式による場合や複数教員が共同で担当する場合等）には、その合計人数を記載すること（兼任教員を含む）。兼任教員のみが担当する授業科目は空欄となる。
- ⑤ 複数の学科にまたがる科目がある場合は、それらの科目を記載する共通の欄を作成すること。
- ⑥ 導入教育科目やキャリア科目などの全学共通科目については記載する欄を作成すること。
- ⑦ 学部・学科の改組等により、新旧のカリキュラムが併存している場合はすべて記載し、備考欄にはカリキュラムの改訂年度を記載すること。
- ⑧ 完成年度を経っていない学部・学科について、開講予定も含んだ全開講科目を記載すること。
- ⑨ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。

表3-2

成績評価基準

学部

点数区分	評価の表示方法(a)	評価の表示方法(b)	合否
80 ~ 100 点	A	優	合格
70 ~ 79 点	B	良	
60 ~ 69 点	C	可	
0 ~ 59 点	D	不可	不合格
	E	定期試験放棄で不可	
	F	出席不良で不可	

研究科

点数区分	評価の表示方法(a)	評価の表示方法(b)	合否
80 ~ 100 点	A	優	合格
70 ~ 79 点	B	良	
60 ~ 69 点	C	可	
0 ~ 59 点	D	不可	不合格

- ① 評価の表示方法で「S」または、「秀」がない場合は省略すること。
- ② 評価の表示方法(a)または(b)が該当しない場合は省略すること。
- ③ 上に示した表が大学の実態に当てはまらない場合は、大学の実態に合わせた独自の表を作成すること。

表3-3

修得単位状況（前年度実績）

【1年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	131	3	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	128	97.7	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		131	3	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	128	97.7	-	-
合計		131	3	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	128	97.7	-	-

【2年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	125	3	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	122	97.6	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		125	3	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	122	97.6	-	-
合計		125	3	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	122	97.6	-	-

【3年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	124	4	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	120	96.8	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		124	4	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	120	96.8	-	-
合計		124	4	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	120	96.8	-	-

*次ページあり

【4年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	130	1	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	129	99.2	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		130	1	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	129	99.2	-	-
合計		130	1	0.8	-	-	-	-	-	-	-	-	129	99.2	-	-

【5年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	118	1	0.8	-	-	-	-	-	-	117	99.2	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		118	1	0.8	-	-	-	-	-	-	117	99.2	-	-	-	-
合計		118	1	0.8	-	-	-	-	-	-	117	99.2	-	-	-	-

【6年次】

学 部	学 科	令和4年3月31日 現在の在籍者	0単位		1～10単位		11～20単位		21～30単位		31～40単位		41～50単位		51単位以上	
			人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
医 学 部	医学科	113	-	-	-	-	113	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
医学部計		113	-	-	-	-	113	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		113	-	-	-	-	113	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

- ① 卒業年次学生については、実際の卒業（離籍）日時点における数値とする。
- ② 在籍者数には休学者及び留年者を含み、その内訳を欄外に記載することとする。ただし、当該年度中の退学者は含めない。
- ③ 教職などの卒業要件に関係しない単位についてもカウントすること。
- ④ 改組等により学部・学科の名称等を変更した場合は、新旧の学部・学科名をすべて記載し、その旨を欄外に記載すること。
- ⑤ 累計ではなく、単年度の修得単位数を記載すること。
- ⑥ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。
- ⑦ 医、歯、薬、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部の場合は、6年次まで表を作成し、記載すること。

表3-4

年間履修登録単位数の上限と進級、卒業（修了）要件（単位数）

	学部・学科 年次	医学部			-			-		
		医学科	-	-	-	-	-	-	-	-
年間履修登録単位数の上限	1年次	42	-	-	-	-	-	-	-	-
	2年次	44	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年次	50	-	-	-	-	-	-	-	-
	4年次	48	-	-	-	-	-	-	-	-
	5年次	38	-	-	-	-	-	-	-	-
	6年次	13	-	-	-	-	-	-	-	-
進級の要件(単位数)	1年次	42	-	-	-	-	-	-	-	-
	2年次	44	-	-	-	-	-	-	-	-
	3年次	50	-	-	-	-	-	-	-	-
	4年次	48	-	-	-	-	-	-	-	-
	5年次	38	-	-	-	-	-	-	-	-
	6年次	13	-	-	-	-	-	-	-	-
卒業の要件(単位数)		-	-	-	-	-	-	-	-	-

- ① 医、歯、薬、獣医学系あるいは獣医（関係）学科をもつ学部の場合には、年間履修登録単位数の上限を6年次まで、進級の要件（単位数）を5年次まで作成すること。
- ② 単位数以外の進級要件がある場合には、その旨を欄外に記載すること。
- ③ 上に示した表が大学の実態に当てはまらない場合は、大学の実態に合わせた独自の表を作成すること。
- ④ 学部のみについて記載すること（研究科、通信教育ともに記載不要）。ただし、通信教育課程のみの大学の場合は、この表に準じて記載すること。大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替えて記載すること。

表4-1

学部、学科の開設授業科目における専兼比率

※ 本学は、教養教育・専門教育の区別がありません。

学部・学科			必修科目	全開設授業科目	
医学部	医学科	専門教育	専任担当科目数(a)	52	52
			兼任担当科目数(b)	7	7
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	87.6	87.6
		教養教育	専任担当科目数(a)	-	-
			兼任担当科目数(b)	-	-
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	-	-
	〇〇学科	専門教育	専任担当科目数(a)	-	-
			兼任担当科目数(b)	-	-
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	-	-
		教養教育	専任担当科目数(a)	-	-
			兼任担当科目数(b)	-	-
			専兼比率 ($a/(a+b)*100$)	-	-

- ① 学部のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学部、学科も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学部、学科等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合、同一教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、兼任教員が担当する場合は、兼任担当科目数が1となる。
複数教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当する場合は、専任担当科目数が0.5、兼任担当科目数が0.5となる。(例：一科目で4クラスに分かれ、兼任が2クラス、専任が2クラス担当する場合、専任0.5、兼任0.5)
- ⑧ 実験、実習等一つの科目を兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。(例：専任4人、兼任1人で担当の場合、専任0.8、兼任0.2)
- ⑨ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。
- ⑩ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。

表4-2

職員数と職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）

	正職員	嘱託	パート (アルバイト も含む)	派遣	合計
人数	4,783	116	171	382	5,452
%	87.7%	2.1%	3.1%	7.0%	100.0%

	正職員						
	男	うち 管理職	女	うち 管理職	男女 正職員 合計	管理職 合計	正職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)
20歳代	277	0	1,726	0	2,003	0	41.9%
30歳代	323	0	855	0	1,178	0	24.6%
40歳代	168	8	745	24	913	32	19.1%
50歳代	191	55	402	63	593	118	12.4%
60歳代	35	15	59	14	94	29	2.0%
その他	2	0	0	0	2	0	0.0%
合計	996	78	3,787	101	4,783	179	100.0%

定年	63歳
役職定年	歳
選択定年	歳

「管理職の定義欄」（記述）
課長、事務室長、事務長、副技師長、看護師長以上

※法人本部の職員で大学等への割振者数60名を含む。

- ① 役職定年及び選択定年がある場合は記載すること。
- ② 管理職の定義を「管理職の定義欄」に記載すること。
- ③ パートの欄には臨時職員等も含めて記載し、欄外にその旨を記載すること。
- ④ 派遣には紹介予定派遣者を含めて記載すること。
- ⑤ 附属施設の医療系の職員は、別表を作成すること。ただし、大学職員としてカウントしている場合は、含めて記載すること。
- ⑥ 法人本部を設置している場合、法人本部の職員として発令されている者であっても大学等の業務を行っている場合は、その職員数を含めて算出し、欄外にその旨を記載すること。

表4-2 別表

医療系職員構成（正職員・嘱託・パート・派遣別、男女別、年齢別）

	正職員	嘱託	パート (アルバイト も含む)	派遣	合計
人数	4,169	31	34	119	4,353
%	95.8%	0.7%	0.8%	2.7%	100.0%

	正職員						
	男	うち 管理職	女	うち 管理職	男女 正職員 合計	管理職 合計	正職員合計 に対する 年齢別の割合 (%)
20歳代	253	0	1,602	0	1,855	0	44.5%
30歳代	258	0	767	0	1,025	0	24.6%
40歳代	132	5	653	21	785	26	18.8%
50歳代	106	21	329	54	435	75	10.4%
60歳代	20	9	48	11	68	20	1.6%
その他	1	0	0	0	1	0	0.0%
合計	770	35	3,399	86	4,169	121	100.0%

定年	63歳
役職定年	歳
選択定年	歳

「管理職の定義欄」（記述）
副技師長、看護師長以上

- ① 役職定年及び選択定年がある場合は記載すること。
- ② 管理職の定義を「管理職の定義欄」に記載すること。
- ③ パートの欄には臨時職員等も含めて記載し、欄外にその旨を記載すること。
- ④ 派遣には紹介予定派遣者を含めて記載すること。
- ⑤ 附属施設の医療系の職員は、別表を作成すること。ただし、大学職員としてカウントしている場合は、含めて記載すること。
- ⑥ 法人本部を設置している場合、法人本部の職員として発令されている者であっても大学等の業務を行っている場合は、その職員数を含めて算出し、欄外にその旨を記載すること。

表5-1

財務情報の公表（前年度実績）

【閲覧の方法】

閲覧の方法 (自由筆記)	法人では、従前より「財務情報等の閲覧に関する規程」に基づき、閲覧請求者からの請求手続きを経て法人の指定する日時、場所において担当職員の指示に従い閲覧することができる。
-----------------	---

【その他の開示方法】

自己点検・ 評価報告書			学内広報誌			大学機関紙			財務状況に 関する報告書			学内LAN			ホームページ (ウェブサイト 等)			その他 (一般向けの 経済紙等)			開示請求があれ ば対応する		
資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借	資金	事業	貸借
-	-	-	○	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	○	○	○

- ① 財務情報の閲覧の方法を自由筆記すること。
- ② 【その他の開示方法】について、あてはまる部分に○印を記載すること。
- ③ 受審前々年度決算の資金収支計算書（資金）・事業活動収支計算書（事業）・貸借対照表（貸借）について、受審前年度に公表したものをすべて記載すること。

表5-2

事業活動収支計算書関係比率（法人全体のもの）

	比 率	計算式	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	43.6%	42.1%	42.5%	41.7%	38.6%	-
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	630.5%	642.9%	670.7%	716.7%	764.8%	-
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	48.4%	48.8%	50.0%	47.8%	47.7%	-
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	5.0%	5.1%	4.9%	4.7%	5.5%	-
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.7%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	-
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	1.7%	3.4%	1.9%	3.1%	8.1%	-
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	101.1%	105.4%	106.0%	103.8%	102.6%	-
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	6.9%	6.6%	6.3%	5.8%	5.1%	-
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	0.9%	1.1%	0.7%	0.8%	0.8%	-
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	0.8%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	-
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	4.7%	4.4%	4.3%	9.5%	11.7%	-
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	4.3%	4.3%	4.3%	9.4%	11.6%	-
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	2.8%	8.3%	7.5%	6.7%	10.4%	-
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	6.3%	6.3%	6.1%	5.7%	5.8%	-
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	2.1%	3.2%	1.9%	5.2%	7.7%	-
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	2.1%	3.2%	1.9%	5.2%	7.7%	-

- ① 平成27年度からの「学校法人会計基準」に基づく事業活動収支計算書を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。
 なお、法人として当該大学のみを運営している場合は、表5-2のみを作成し、表5-3には記載しないこと。
 ただし、医・歯学部などで附属病院を併設している場合には、表5-3も作成すること。

表5-3

事業活動収支計算書関係比率（大学単独）

	比 率	計算式	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
1	人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	53.4%	53.6%	52.3%	50.1%	51.2%	-
2	人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}}$	127.1%	130.6%	124.8%	120.0%	121.2%	-
3	教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	44.4%	44.2%	45.1%	42.7%	45.0%	-
4	管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	3.7%	3.7%	4.6%	3.5%	4.7%	-
5	借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}}$	0.7%	0.6%	0.5%	0.5%	0.4%	-
6	事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	-10.0%	-4.8%	-2.5%	0.2%	3.3%	-
7	基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	140.7%	115.9%	127.5%	100.6%	100.2%	-
8	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	42.0%	41.0%	42.0%	41.8%	42.2%	-
9	寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	8.5%	7.1%	7.6%	8.0%	7.6%	-
	経常寄付金比率	$\frac{\text{教育活動収支の寄付金}}{\text{経常収入}}$	8.2%	6.5%	7.2%	7.5%	7.6%	-
10	補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	35.9%	37.3%	37.2%	38.2%	33.8%	-
	経常補助金比率	$\frac{\text{教育活動収支の補助金}}{\text{経常収入}}$	36.1%	37.5%	37.4%	38.2%	36.5%	-
11	基本金組入率	$\frac{\text{基本金組入額}}{\text{事業活動収入}}$	21.8%	9.6%	19.6%	0.8%	3.6%	-
12	減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	12.9%	12.2%	11.6%	12.5%	12.3%	-
13	経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-2.2%	-2.2%	-2.5%	3.1%	-1.3%	-
14	教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-2.2%	-2.2%	-2.5%	3.1%	-1.3%	-

① 平成27年度からの「学校法人会計基準」に基づく事業活動収支計算書を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。

② 大学単独のものを記載すること（医、歯系学部を有する大学の場合、附属病院などを除外すること）。

表5-4

貸借対照表関係比率（法人全体のもの）

	比 率	計算式	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備 考
1	固定資産構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	80.4%	80.6%	80.3%	79.7%	79.9%	-
2	有形固定資産構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	79.3%	79.6%	79.2%	78.7%	79.0%	-
3	特定資産構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	-
4	流動資産構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	19.6%	19.4%	19.7%	20.3%	20.1%	-
5	固定負債構成比率	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	52.4%	47.8%	43.0%	41.7%	40.3%	-
6	流動負債構成比率	$\frac{\text{流動負債}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	19.5%	21.6%	24.8%	24.9%	22.0%	-
7	内部留保資産比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{総負債}}{\text{総資産}}$	-64.3%	-62.3%	-61.0%	-59.8%	-56.0%	-
8	運用資産余裕比率	$\frac{\text{運用資産} - \text{外部負債}}{\text{経常支出}}$	-0.7年	-0.6年	-0.6年	-0.6年	-0.5年	-
9	純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	28.2%	30.6%	32.2%	33.4%	37.7%	-
10	繰越収支差額 構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	-109.4%	-112.6%	-117.4%	-113.9%	-106.7%	-
11	固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$	285.6%	263.4%	249.4%	238.5%	211.8%	-
12	固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産} + \text{固定負債}}$	99.8%	102.7%	106.7%	106.1%	102.4%	-
13	流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	100.7%	90.0%	79.6%	81.5%	91.6%	-
14	総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	71.8%	69.4%	67.8%	66.6%	62.3%	-
15	負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	255.2%	226.8%	210.6%	199.2%	165.2%	-
16	前受金保有率	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$	698.8%	320.5%	264.0%	245.9%	314.3%	-
17	退職給与引当 特定資産保有率	$\frac{\text{退職給与引当特定資産}}{\text{退職給与引当金}}$	-	-	-	-	-	-
18	基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	90.8%	91.9%	92.8%	93.2%	96.7%	-
19	減価償却比率	$\frac{\text{減価償却累計額（図書を除く）}}{\text{減価償却資産取得価額（図書を除く）}}$	52.8%	54.5%	56.4%	57.4%	53.2%	-
20	積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	9.3%	8.3%	7.5%	36.8%	7.5%	-

① 平成27年度からの「学校法人会計基準」に基づく貸借対照表を用いて、表に示された計算式により、比率を記載すること。

表5-5

要積立額に対する金融資産の状況（法人全体のもの）（過去5年間）

（単位：千円）

	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	要積立額	金融資産								
退職給与引当金	17,789,914	-	18,153,310	-	18,539,091	-	18,868,264	-	19,338,523	-
減価償却累計額	86,746,022	-	92,545,928	-	98,322,677	-	99,119,210	-	101,749,016	-
2号基本金引当資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3号基本金引当資産	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591	57,591
4号基本金	5,979,000		5,979,000		7,276,000		7,276,000		7,276,000	
借入金	58,002,398		52,844,196		49,844,151		49,428,563		47,994,117	
未払金・割賦金	14,640,528		15,250,089		15,053,590		16,742,493		19,261,772	
その他引当特定資産		-		-		-		-		-
現金預金		9,300,229		8,835,727		8,399,696		8,733,691		8,705,699
有価証券		355,580		316,133		316,133		316,133		316,133
未収入金		15,141,497		15,311,213		15,780,591		17,046,866		18,415,209
計	183,215,454	24,854,897	184,830,115	24,520,664	189,093,101	24,554,011	191,492,121	26,154,280	195,677,019	27,494,632
総資産		129,037,961		129,678,498		129,210,109		134,531,958		145,067,346
総資産に対する金融資産の割合		19.3%		18.9%		19.0%		19.4%		19.0%
4号基本金に対する現金預金の割合		155.5%		147.8%		115.4%		120.0%		119.6%

学生生徒等納付金に係る学生数

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日本医科大学大学院	152名	165名	180名	197名	209名
日本獣医生命科学大学大学院	55名	71名	69名	53名	54名
日本医科大学	698名	704名	725名	742名	741名
日本獣医生命科学大学	1,750名	1,738名	1,725名	1,681名	1,605名
看護専門学校	244名	248名	242名	245名	241名
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
合計	2,899名	2,926名	2,941名	2,918名	2,850名

① 「学校法人会計基準」に基づく貸借対照表を参照して記載すること。

② 「学生生徒等納付金に係る学生数」の欄には大学及び大学院のほか、同一法人内の他の学校も含めて記載すること。